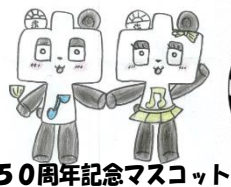


「つたえよう」「わかりあおう」「つなごろう」 学校だより



50周年記念マスコット



# 伸びゆく子

令和2年9月30日

横浜市立中沢小学校

10月 号

## つながりをつくる

校長 小倉克彦

空は高く澄み渡り、朝夕の空気がキリッと感じられる季節になりました。

10月17日（土）、いよいよ中沢小学校は、一週間にわたる子どもたちの創立50周年を祝う会の最終日を迎えます。学校としての大きな節目を子どもたちが力を合わせてお祝いすることが、子どもたちの成長にとって大切であると考え、取組をすすめているところです。

子どもたちは昨年度より「中沢小学校の50周年」を少しずつ意識して学校生活を送ってきました。夏休み明けには放送での朝会を通して「50周年のお祝いが10月にあること」「全校で集まることはできないけれど、お祝いの気持ちを伝えあう取組にしたいこと」「お祝いに向けてのアイデアを募集すること」を話しました。朝会の話を受けて低学年から高学年までたくさん子どもたちが休み時間、校長室に話をしにきてれています。内容は「学校内の飾り付け」や、「学校の歴史や学校のよさを調べて発表する」など様々ですが、各学年で、自分たちにできることを真剣に考えながら取組をすすめている様子が伝わります。

先日、6年生が「中沢のまちのよさ」について話しにきてくれました。わたしが「まず、みんなはどう思っているの」と聞くと、間髪を入れず「自分たちの考えとしては・・・」と語り始めました。これまでの経験をもとに「まちの魅力」について真剣に語る子どもたちに本当に感心しました。この6年生が大人になり、どのようにまちを支えてくれるのだろうと期待が膨らみます。50周年に向けての取組をすすめながら、子どもたちの意識は学校内から地域へも向いてきています。そして現在、過去の方々へ感謝の気持ちが生まれている様子に感動しています。

お祝いの会では各学年の合唱発表も予定しています。例年のように全校で集まることのできないため、学年ごとに体育館で発表する様子をオンラインで教室のモニターで視聴することにしました。発表した学年へは視聴した子どもたちからメッセージを送ります。

子どもたちは学校でたくさんの人と関わり、その繋がりを実感しながら成長していきます。今年度、従来大切にしてきた活動が難しい状況の中、工夫し、協力して「人とのつながり」を実現する経験が子どもたちにとって大きな自信になっていくと信じています。今回、地域・保護者の皆様とともに50周年をお祝いする祝賀会の実施は叶わない状況です。それは大変残念なことです。しかしながら、皆様とともに子どもたちの成長を見守り、喜べる。そんな10月にしたいと思います。今月もよろしくお願ひします。

※50周年に向けて取組をすすめる子どもたちの様子を YCV(地デジ 11ch)で放映していただくことになりました。詳細はあとのページに記載しています。是非ご覧ください。